

薬草栽培だより

No. 102 令和4年6月20日

富山県薬事総合研究開発センター
薬用植物指導センター

〒930-0412 中新川郡上市町広野 2732
電話 076-472-0801
FAX 076-472-0353

薬用作物生産技術確立プロジェクトチーム

1. 気象経過

今年の月平均気温は、4月においては平年に比べ高いか、かなり高くなり、5月は平年並か平年に比べ高くなりました。

降水量は、一部地域を除き4月、5月ともに平年並みとなりました。(富山地方気象台データ参照)

2. 当センターでの生育状況

(1) トウキ

苗づくりについては、6月1日に播種し、直後にもみ殻を散布し、トンネル状の遮光ネットを掛けて土壤の乾燥を防ぎ、発芽を促しています。遮光ネットは、夏場の高温・乾燥対策として掛けたままとし、9月に外す予定です。

4月に苗を定植した試験ほ場については、5月下旬からキアゲハ及びアブラムシが発生したため、すみやかに殺虫剤散布により対処しました。



キアゲハ被害株



アブラムシ被害株

(2) シャクヤク

気温は3月に平年並み、それ以降は高く推移し、開花も平年並みとなりました。

3. ほ場の排水対策

今年は6月13日ごろ梅雨入りしました。今後はほ場内に雨水が停滞しないよう排水溝の手直しなど排水対策を行います。

4. 作物別管理

(1) トウキの栽培管理

①苗床の除草

本葉が数枚展開した頃、雨後の土が湿った状態でトウキの根が抜けないよう注意して行います。

②追肥

施肥時期：6月(定植後約60日)、新葉が展開し草丈が15cm頃

| 肥料名 | 施肥量(kg/10a) |
|-------------|-------------|
| 化成(NPK各15%) | 30kg |
| 油粕 | 50kg |
| 過磷酸石灰 | 20kg |

③害虫の防除

定期的に巡回して発生初期に対処します。

○キアゲハ(5~9月)：

プレバソフフロアブル5 2000倍、4回以内

○アブラムシ(5~10月)：

モスピラン顆粒水溶剤2000倍、5回以内

○ハダニ類(7~9月)：

コテツフロアブル2000倍、2回以内

(2) シャクヤクの栽培管理

シャクヤクは、9月頃まで根に貯蔵養分を蓄積する時期です。そのため、葉が枯れあがらないように、病害に注意し、株の年数に応じて追肥を行います。

①追肥

(kg/10a)

| 年目 | 肥料名 | 施肥時期 | | |
|----|-------------|------|------|-------|
| | | 3月 | 6月 | 10月 |
| 1年 | 発酵鶏糞 | | | 150kg |
| 2年 | 化成(NPK各15%) | 40kg | 80kg | 40kg |
| | 発酵鶏糞 | | | 300kg |
| 3年 | 化成(NPK各15%) | 40kg | 80kg | 40kg |
| | 発酵鶏糞 | | | 300kg |
| 4年 | 化成(NPK各15%) | 40kg | 80kg | |

②病害の防除

うどんこ病の予防にダコニール1000【1000倍、収穫ま

でに15回以内(但し、1年間に3回以内)】を月に1回散布します。葉や茎に白色で粉状の菌叢が生じ、発病葉はやがて乾燥し枯れ上がります。風で飛散し徐々に蔓延します。

③除草剤散布

雑草の生育期(繁茂する前)に、飛散防止カバーを付けて、シャクヤクにかからないように注意して除草剤(タッチダウン iQ)を畦間処理します。



シャクヤクうどんこ病

ミシマサイコ、ホソバオケラなどについての相談は、薬用植物指導センターで対応していますのでご連絡ください。

県内の薬用作物栽培の現況

薬用作物栽培についての要望に対応し、県では厚生部と農林水産部が連携し、薬用作物に関心のある農業者を対象にした栽培技術研修会を開催しています。

また、「富山型薬用作物生産協議会」では、シャクヤクの掘取機と乾燥機の改良・導入に取り組んでいます。中山間地、農業生産組織、担い手農家などから、転作作物として、シャクヤク、トウキなど薬用作物の栽培が注目されています。

お知らせ

薬用作物生産技術確立プロジェクトチームでは、薬用作物の生産拡大を図るための生産拡大・収穫調製研修会等の開催を下記のとおり予定しています。ぜひ、多くの栽培農家の皆様にご参加いただきますようお知らせします。なお、詳細については、当センターに問い合わせください。

○薬用植物講演会

日時 令和4年7月29日(金)

10:00~12:00

場所 富山県民会館 706号室

演題 愛媛県における薬用作物栽培の取り組みについて

内容
・薬用植物栽培研究の紹介
・愛媛県における薬用作物栽培の取り組み(ミシマサイコ、トウキなど)

講師 愛媛県農林水産研究所 農業研究部

野菜育種栽培室 主任研究員

白石 豊 先生

申込 薬用植物指導センター

電話:076-472-0801

FAX:076-472-0353

○令和4年度薬用作物生産拡大研修会

日時 令和4年8月8日(月)

13:15~16:00

場所 薬用植物指導センター 研修室

内容 薬用作物栽培に関心のある農業者や薬用作物生産者等を対象とし、実際の栽培圃場の見学及び、栽培方法等について研修を行う。

申込 富山県農林水産部農産食品課園芸振興係

電話:076-444-3284

FAX:076-444-4410

○シャクヤクの収穫調製研修会(予定)

日時 令和4年10月上中旬

場所 県内農家圃場

※開催時間、場所、申込方法等については9月頃案内します。



薬用植物指導センターのシャクヤク園
(2022年5月25日撮影)

薬用植物に使用出来る（登録）農薬について（令和4年6月調べ）

農薬には、作物や病害虫毎に使用出来る農薬の種類と使用方法が定められています。農薬容器（袋）に〔作物名、適用病害虫、希釈倍数、使用時期、使用回数、使用方法〕などが明記されていますので、使用書を遵守してください。また、登録の無い農薬は使用しないでください。

| 作物名 | 分類 | 適用病害虫（雑草）名 | 農薬の名称 | 使用回数 |
|-------|-----|---------------------------|--|-------------------------|
| トウキ | 除草剤 | 1年生雑草 (畦間処理) | ロックス(水和剤)：薬剂量 100g/10 a | 2回以内 |
| | | 1年生雑草 (定植後雑草発生前) | ゴーゴーサン乳剤 300 ml/10 a | 1回 |
| | | 1年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く) | ナブ乳剤：薬剂量 150～200ml/10 a、 散布量 100～150L/10 a | 2回以内 |
| | | 1年生雑草 (雑草茎葉散布) | バスタ液剤：薬剂量 300～500ml/10a、 散布量 100～150L/10a | 3回以内 |
| | 殺虫剤 | アブラムシ類 | モスピラン顆粒水溶剤 2000 倍 | 5回以内 |
| | | キアゲハ | フレバソフアブル5 2000 倍 | 4回以内 |
| | | ハダニ類 | コテツフロアブル 2000 倍 | 2回以内 |
| 殺菌剤 | 斑点病 | アミスター 20フロアブル 2000 倍 | 3回以内 | |
| ジャクヤク | 除草剤 | 1年生雑草 (萌芽前、雑草発生前) | トレファノサイト乳剤：薬剂量 300ml/10a、 散布量 100L/10a | 5回以内 (1年間に 1回) |
| | | 1年生雑草 (畦間処理、雑草生育期) | タッチダウン iQ :薬剂量 250～500ml/10a、 散布量 25～100L/10a | 3回以内 |
| | 殺菌剤 | うどんこ病 | ダコニール 1000 1000 倍 | 15回以内 (1年間に 3回以内) |
| | | 灰色かび病 | ペンレート水和剤 1000 倍 | 8回以内 |